

しりべしミュージアムロードとは？

北海道後志管内の5町に点在する6つの美術館・文学館を結ぶ「しりべしミュージアムロード」。地域ゆかりの芸術家をテーマにした個性あふれる施設を、山から田園、そして海へといった変化に富んだ景観とともに楽しむことができるドライブコースとして親しまれています。

加盟館：有島記念館、一般財団法人荒井記念美術館、木田金次郎美術館、小川原脩記念美術館、西村計雄記念美術館、中山峠森の美術館

会期中の特典

有島記念館、荒井記念美術館、木田金次郎美術館、小川原脩記念美術館、西村計雄記念美術館共通

●入館料相互割引

期間中、受付で5館いずれかの入場半券をご提示いただくと、団体割引料金にてご入館いただけます。

●スタンプラリー

共同展開催5館を巡り、特産品やオリジナルグッズをあてよう！5館制覇でもれなく「完走記念品」をその場でプレゼント！さらに抽選で「MRオリジナルグッズ(5名様)」または「5館グッズセット(5名様)」を差し上げます。

イベントカレンダー

有島記念館

- | | | |
|----------|--------|--|
| 7月18日(土) | 13:00～ | 「有島記念館周辺の植物を使った草木染体験」
講師：田中富美江(自然ガイド) (参加無料、要申込 [0136-44-3245]) |
| 8月8日(土) | 13:00～ | 若手作家による美術講座「透明水彩で絵を描こう」
講師：松崎祐哉(画家) (参加無料、要申込 [0136-44-3245]) |

一般財団法人 荒井記念美術館

- | | |
|-------------------|---|
| 7月18日(土)～8月30日(日) | 「かんたん！発泡スチロールスタンプをつくろう！」(参加無料)
発泡スチロールに油性ペンで絵を描くと、ふしぎ！描いたところがへこんで、簡単にスタンプが作れます。自分だけのオリジナルスタンプを作ろう！ |
|-------------------|---|

木田金次郎美術館 KIDA KINJIRO MUSEUM OF ART

- | | |
|----------|--|
| 8月14日(金) | 夏休みワークショップ「手びねりで自分だけのおちゃわんを作ろう！」
講師に、岐阜県多治見市で陶芸制作をしている鈴木路幸さん(岩内高校出身)を招いて、抹茶茶碗を作ります。
※制作した作品は多治見で輪掛け・焼成して完成です。当日はお持ち帰りいただけません。(参加無料・要予約)
※9月26日(土)に、完成した自分のお茶碗で薄茶を飲む「お茶会」を開きます(日には変更になる場合があります)。 |
|----------|--|

西村計雄記念美術館 Musée Kéou Nishimura

- | | |
|-------------------|---|
| 7月25日(土)～8月16日(日) | 「夏休み！自由研究応援部隊」 工作コーナーの開設やクイズの配布を行います。 |
| 7月25日(土) | 10:00～12:00
トライアート
「えのぐであそぼ！こどもだらけでながへい絵」に挑戦！(参加無料・要予約) |
| | 10:00～15:00
ボランティアによるカフェ・サービス「カフェ・フルール」 |
| 8月7日(金) | 19:30～20:30
トライアート「七夕だよ！星空観察」に挑戦！(参加無料・要予約) |
| 8月8日(土) | 19:00～
第16回 ほしぞら映画会 美術館の壁面をスクリーンにした野外映画会 |
| 8月23日(土)・24日(日) | かかし祭協賛くじびき |

小川原脩記念美術館 Shu Ogawara Museum of Art

- | | |
|-------------------|---|
| 7月18日(土)・8月22日(土) | 10:00～14:00
フリーマーケット(雨天中止) |
| 8月1日(土)・2日(日) | 9:00～17:00
くっちゃんじゃが祭協賛、ご来館の方にオリジナルグッズをプレゼント |
| 8月8日(土) | 13:30～15:30
造形活動ワークショップ
「むつ先生とアートであそぼう！② おもしろい 顔に なあれ！」(参加無料・先着30名) |

※開催日・内容などは変更になる場合があります。お出かけの際は電話にて各実施館にご確認ください。

しりべしミュージアムロード共同展

道

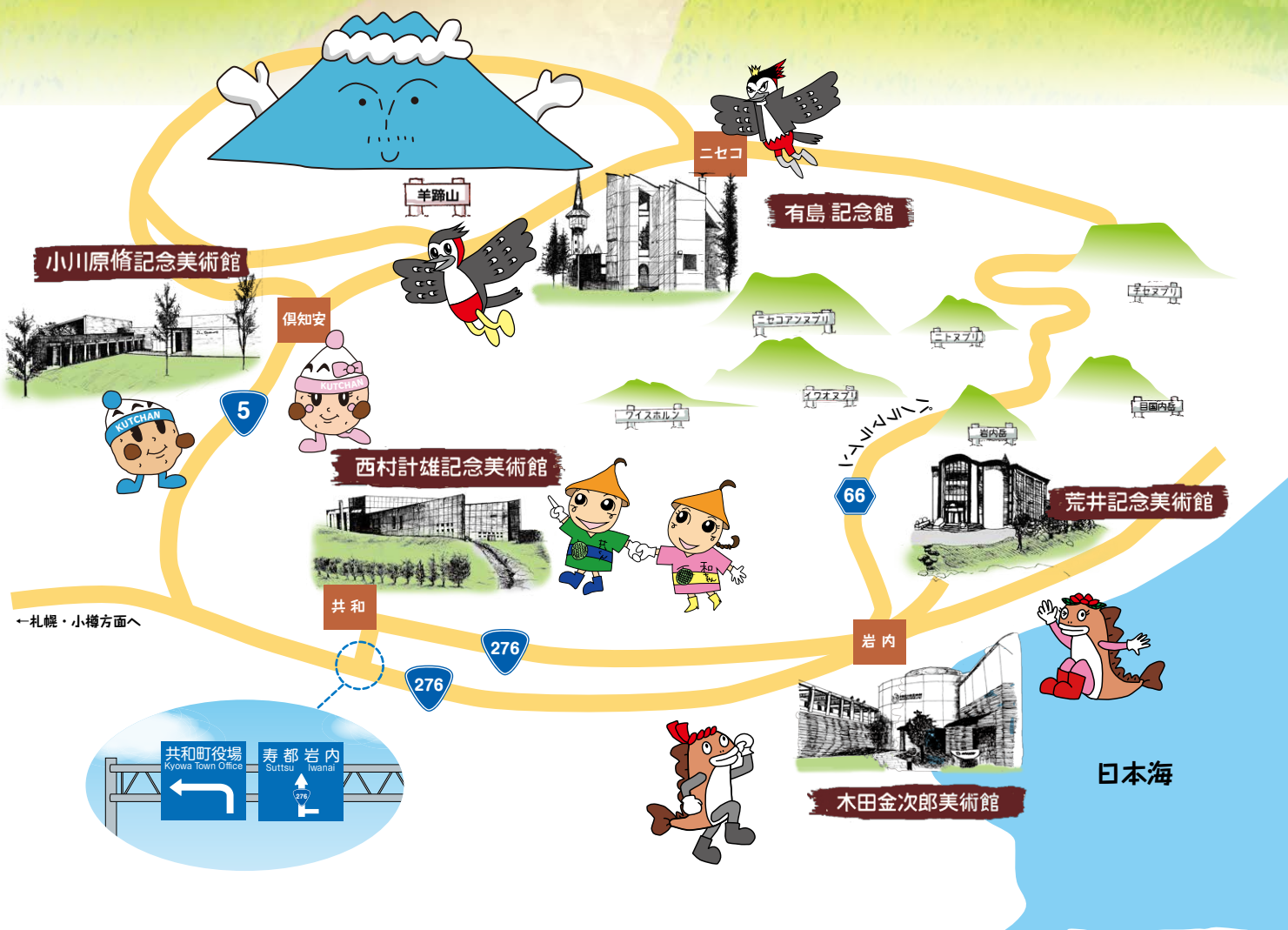
—On the Road—

ニセコから倶知安、共和、岩内にいたる後志地方の雄大で美しい自然の中に、5館の美術館・文学館が点在しています。それらの建物を結ぶ道を、私たちは「しりべしミュージアム・ロード」と呼んでいます。

道(ロード)にもいろいろな表情があります。広い道、狭い道、快適な道、険しい道、楽しい道、苦しい道。そこから「人生」は、いつの時代にも「道」に例えられてきたのでしょう。ミュージアム・ロード5館の作家たちも、一人ひとりがユニークな独自の道を歩んでいます。人生の幕を自ら閉じた有島武郎をはじめ、故郷に根を降ろして独自の世界を追求した木田金次郎や小川原脩、バリエに羽ばたいた西村計雄、そしてあの天才ピカソでさえ、その人生は決して平坦ではありませんでした。最後まで自分が信じる道を歩き続けました。

人生の道にはさまざまな出会いや別れがあり、予期しないところで他の道と交わっていることがあります。この5人の作家たちの間にも、時代を越え、場所を越えた意外なつながりがあるのです。あなたも新たな出会いをも求めて、ミュージアム・ロードを巡る旅に出かけてみませんか。

2015年7月18日(土)～8月30日(日)



有島記念館「2つの道」 一般財団法人荒井記念美術館「ピカソの歩いた道」

木田金次郎美術館「絵がたどってきた道」 小川原脩記念美術館「帰り道」 西村計雄記念美術館「北海道遺産」

主催：有島記念館 一般財団法人荒井記念美術館 木田金次郎美術館 小川原脩記念美術館 西村計雄記念美術館



【所在地】〒044-0006 北海道虻田郡倶知安町北6条東7丁目1
【TEL】0136-21-4141
【URL】http://www.town.kutchikan.hokkaido.jp/culture-sports/ogawara-museum/
【開館時間】9:00～17:00(入館16:30迄)
【休館日】火曜日
【入館料】一般500(400)円/高校生300(200)円/
小中学生100(50)円
※()内は10名以上の団体料金
【JR】函館本線倶知安駅下車 徒歩30分またはバスター10分

夏・空よ！
小川原脩 自然風な展覧会
【同時開催】
す。
まれた作品をご紹介します
や、実際に描かれたスケッチなど、「帰り道」から生
帰路に着想を得た作品
は、新たな視点を導き出すきっかけともなっています。

帰り道、それは1日の仕事を終え我が家へ向かう道。遠路の旅を終え、ふるさとへと帰ってゆく道。特に、それぞれの人生の中で制作の大きな転換点として在るのが「旅」でした。小川原脩にとっても、西村計雄にとっても、道民の「宝物」が後志の作家たちの作品にどのようにあらわされているかを探ります。

「帰り道」 Shu Ogawara Museum of Art



「ピカソが歩いた道」 一般財団法人 荒井記念美術館

現代アートの巨匠、パブロ・ピカソ。92年に及ぶ長い生涯、彼はどこを訪れ、どんな道を歩いたのでしょうか。生まれ育ったスペイン、制作の拠点としたフランス…実際に住いた土地の風景や文化、人びとが描かれた作品とともに、ピカソの足跡を辿ります。

【同時開催】ピカソの軌跡
青の時代から晩年に至るまでの作品を、年代を遡ってご紹介いたします。

【所在地】〒045-0024 北海道岩内郡岩内町野東505

【TEL】0135-63-1111

【URL】http://www.wanah.com/art/

【開館時間】9:00～17:00(入館16:30迄)

【休館日】月曜日(11月中旬～4月中旬 冬期休館)

【入館料】一般1,000(900)円/大・高校生700(600)円/
小中学生400(300)円
※()内は10名以上の団体料金
【交通案内】(バス)中央バス 荒井記念美術館前下車



「絵がたどってきた道」 KIDA KINJIRO MUSEUM OF ART

私たちが見ている作品は、どんな経緯で描かれたのでしょうか。どんな芸員のお話をもとに紹介します。

【同時開催】春の企画展
木田金次郎 百花繚乱

木田金次郎 百花繚乱

木田金次郎と昭和30年代

(7月30日まで)

【所在地】〒045-0003 北海道岩内郡岩内町万代

【TEL】0135-63-2221

【URL】http://www.kidakinjiro.com/

【開館時間】10:00～18:00(入館17:30迄)

【休館日】月曜日(MR期間中7月28・29日は展示入れ替えの為休館)

【観覧料】一般500(400)円/高校生200(150)円/小中学生100(80)円
※()内は10名以上の団体料金(リピーター割引・JAF割引)

【交通案内】(バス)中央バス 岩内ターミナル下車 徒歩1分



【同時開催】夏から秋の展覧会「西村計雄の日本紀行」

「北海道遺産」とは、人々の歴史や文化、生活、産業など「次の世代へ引き継ぎたい有形・無形の財産」の中から選ばれた「北海道民全体の宝物」のこと。本展では、現在選定されている52件の中から、「スキーとニセコ連峰」「積丹半島と神威岬」「北海道の馬文化」「アヌイ文様」をキーワードに、道民の「宝物」が後志の作家たちの作品にどのようにあらわされているかを探ります。

西村計雄記念美術館「北海道遺産」 Musée Kéou Nishimura

木田金次郎美術館 KIDA KINJIRO MUSEUM OF ART

二つの道がある。(中略)人の世の全ての迷いはこの二つの道がさせる業である——小説家・有島武郎は、評論『二つの道』でそうに述べています。有島武郎やそれを取り巻く人々の迷いを、作品や資料を交えながら紹介いたします。

「2つの道」



有島記念館